

国内初、アルミ付き紙容器の再生段ボール商用利用開始 ゴールドパック『Azumino Mineral Water』で循環モデルを実装 ～ 包材とキャップに植物由来ポリエチレンを採用し、CO₂38%削減にも貢献 ～

王子ホールディングス株式会社（社長：磯野 裕之、本社：東京都中央区、以下「王子ホールディングス」）は、日本テトラパック株式会社（社長：ニルス・ハウゴー、本社：東京都港区、以下「日本テトラパック」）、ゴールドパック株式会社（社長：宇治 俊雄、本社：東京都品川区、以下「ゴールドパック」）と連携し、ゴールドパックが製造する「Azumino Mineral Water（紙パック 1L）」において、アルミ付き紙容器の紙繊維を原料とした再生段ボールが梱包材として国内で初めて商用採用されたことをお知らせいたします。

また、ゴールドパックは2026年春より、本製品の包材コーティングおよびキャップに使用するポリエチレンを化石資源由来から植物由来へ切り替え、容器に関わるバリューチェーン全体でCO₂排出量を38%（*1）削減します。

これらの取り組みは、王子ホールディングスと日本テトラパックが共同構築したリサイクルスキームを活用し、食品・飲料用紙容器の製造・消費・回収・再資源化・再利用を、ひとつの製品の中で循環させるモデルを実現するものです。食品・飲料業界における新たな循環型事例として、今後も資源循環の可視化を推進してまいります。

おいしさに、ひたすら、ひたむき。



アルミ付き紙容器を原料とした再生段ボールとAzumino Mineral Water（紙パック 1L）

■ 国内初①：アルミ付き紙容器を原料とした再生段ボールの商用利用

「Azumino Mineral Water (紙パック 1L)」の梱包材は、王子ホールディングスと日本テトラパックが共同構築したリサイクルスキームを活用しました。アルミ付き紙容器を紙繊維とポリエチレン・アルミ層に分離し、紙繊維部分を段ボールにマテリアルリサイクルし、梱包材に採用されました。本製品はケース販売が主流であるため、梱包用段ボールを通じて、消費者へ環境への取り組みを訴求できる点が特徴です。

アルミ付き紙容器を原料とした再生段ボールは、2025年大阪・関西万博の北欧パビリオンで配布されたボトルドウォーターの梱包材として活用された実績がありますが、飲料メーカーの製品梱包材として商用利用されるのは、今回が初めてです。

■ 国内初②：アルミ付き紙容器（大型）での植物由来ポリエチレン採用

ゴールドパックは2026年春、「Azumino Mineral Water (紙パック 1L)」に採用された日本テトラパック製のアルミ付き紙容器「テトラ・ジェミーナ® アセプティック 1000ml リーフ」において、包材コーティングおよびキャップに使用するポリエチレンを化石資源由来から植物（サトウキビ）由来へ切り替えます。これにより、同容器の再生可能資源比率を63%から82%に高め、容器に関わるバリューチェーン全体でCO₂排出量を38%削減します。

このCO₂削減率はCarbon Trust認証を取得しており、該当容器にはCarbon Trust認証ラベルが印刷され、視覚的にCO₂削減を訴求できるようになります（*2）。さらに、植物由来のポリエチレンはBonsucro認証（*3）を取得しており、サトウキビの持続可能な生産を支援しています。なお、日本テトラパックが国内で販売するアルミ付き紙容器（大型：500ml以上）において、植物由来ポリエチレンを採用するのは初めてです（*4）。



左：本製品に掲載されている認証ラベル（上：Bonsucro認証ラベル、下：Carbon Trust認証ラベル）

右：アルミ付き紙容器の構造イメージ

■ 循環モデルの意義

従来、アルミ付き紙容器の多くは焼却処理されるサーマルリサイクルが主流で、紙製品への再利用（マテリアルリサイクル）はわずか3.6%（*5）にとどまっていた。

今回の取り組みでは、

- ・容器の原料を植物由来ポリエチレンに切り替え
- ・容器の紙繊維を再生段ボールとして活用
- ・その再生段ボールを自社製品の梱包に使用

という仕組みを導入し、ひとつの製品の中で資源循環を実現しました。このモデルは、飲料メーカーにおける持続可能性の新しい実践例であり、今後は食品・飲料業界全体での採用拡大を目指します。



■ 各社コメント

ゴールドバック株式会社

今回のリニューアルは、当社が目指す持続可能な社会の実現に向けた重要な取り組みです。植物由来ポリエチレンの採用と再生段ボールの導入により、環境負荷低減を具体的な形で実現できました。今後も日本テトラパック様および王子ホールディングス様と協力し、循環型社会の実現に貢献してまいります。

日本テトラパック株式会社 サステナビリティディレクター 大森悠子

このたび、ゴールドバック様、王子ホールディングス様と連携し、製造・消費・回収・再資源化・再利用がひとつの製品で循環するモデルを構築できたことを大変嬉しく思います。まさに「つくる責任、つかう責任」というSDGsに貢献する取り組みと言えます。紙容器の再生可能資源率の向上およびアルミ付き紙容器の回収・リサイクル、さらにリサイクル製品の活用は、当社が掲げる循環型社会の実現に向けた重要なステップです。今後とも、飲用後の紙容器の積極的な回収・リサイクルを消費者の皆さまへ呼びかけ、さらなる資源循環の加速を目指してまいります。

王子ホールディングス株式会社 グループオペレーション本部 リサイクル推進部長 島谷啓二

アルミ付き紙容器のリサイクルは業界として長年の課題でしたが、ゴールドバック様、日本テトラパック様と協働した本取り組みにより、回収から製品利用までを一気通貫で実装することができました。再生段ボールの採用は、資源循環の価値を消費者にわかりやすく届ける重要なモデルケースです。弊社が取り組んでいる企業連携型のマテリアルリサイクルブランド「Renewa（リニューワ）」の一環として、今後も資源循環の“輪”をさらに広げてまいります。

*1：Carbon Trust™ によって検証済み-Tetra Pak Carton CO₂ Calculator モデル バージョン11に基づく。対象範囲：植物由来ポリマーをコーティングとキャップに使用したテトラ・ジェミナ® アセプティック 1000ml リーフを、標準的なテトラ・ジェミナ® アセプティック 1000ml リーフと比較した、製品ライフサイクル全体（原料調達から廃棄まで）を測定（欧州を除く世界平均）。削減量は、包装材料および付属品の仕様により若干変動する場合があります。

*2：Carbon Trustは、脱炭素化された未来への移行を加速させるという使命に基づいて活動する、国際的な気候変動コンサルティング機関です。20年以上にわたり、企業、政府、各種団体の脱炭素化を先駆的に支援してきました。カーボンフットプリントの分野では世界的なリーダーであり、世界中の組織やバリューチェーンのカーボンフットプリントを検証しています。テトラパックの場合、従来のパッケージ（化石資源由来ポリマー使用）から植物由来ポリマー使用の紙容器に切り替えることによって達成された炭素削減率を示しています。認証プロセスでは、紙容器のライフサイクル全体を評価しますが、紙容器の中身は含まれていません。

*3：Bonsucro（ボンスクロ）は、サトウキビ分野における世界をリードする持続可能性プラットフォームおよび認証基準です。気候変動への取り組み、人権の尊重、そしてサプライチェーンにおける価値の創出に焦点を当て、サトウキビの持続可能な生産と利用を加速させることを目的としたグローバルな組織です。Bonsucroの国際的なネットワークには、50カ国以上から300以上の会員が参加しています。詳しくは www.bonsucro.com をご覧ください。

*4：日本テトラパック調べ（2026年1月時点）/日本テトラパックが国内販売する大型のアルミ付き紙容器（500ml以上）を対象とした調査。

*5：「アルミ付飲料用紙容器のリサイクルフロー調査報告書（2023年度実態）」（印刷工業会液体カートン部会／(株)ダイナックス都市環境研究所）。

ゴールドバックについて

ゴールドバックは、創業66年となる清涼飲料メーカーで、日本で初めて野菜ジュースを商品化しました。国内5工場（北海道恵庭市、青森県弘前市、長野県大町市、長野県安曇野市、長野県松本市）にて様々な容器や液種の飲料を製造し、新鮮な野菜・果実をおいしいままに提供する主力の野菜・果実系飲料とともに、消費者の皆さまの健康に資する飲料の受託生産の拡大を図り、人々の「ウェルネス（健やかな暮らし）」に貢献しています。

ウェブサイト：<https://www.gold-pak.com/>

テトラパックについて

テトラパックは、1951年にスウェーデンで創業した、食品加工と紙容器充填包装システムの世界的リーディング・カンパニーです。私たちは、「食品を安全に、そしてどこでも手に入るようにする」ことを使命とし、先進的な食品製造システムを提供しています。世界160以上の国で、24,000人以上の従業員が、お客様やサプライヤーと協力しながら、毎日持続可能な方法で食を守り続けています。

私たちは、「大切なものを包んでいます（PROTECTS WHAT'S GOOD）™」というモットーのもと、食品、人々、そして地球を守ります。テトラパックは、テトラパックグループの登録商標です。

ウェブサイト：<https://www.tetrapak.com/ja-jp>

王子ホールディングスについて

王子ホールディングスは、日本を代表する総合紙・パッケージメーカー。同社は紙・パルプ、包装材植林など多岐にわたる事業を展開しており、グループ連結子会社は国内外を合わせて200社以上、従業員数は約39,000名を擁しています。当社は、森林を健全に育て、その森林資源を活かした製品を創造し、社会に届けることで、地球の温暖化や環境問題に取り組み、希望あふれる地球の未来の実現に向け、時代を動かしていきます。

ウェブサイト：<https://www.ojiholdings.co.jp/>

■ 関連リリース

- ・ 液体紙容器から段ボールへリサイクルシステム構築 紙資源の循環型経済の実現に向け始動
王子ホールディングスと日本テトラパックの共同取り組み

<https://www.ojiholdings.co.jp/portals/0/resources/content/files/news/2024/jp02tp08.pdf>

- ・ 紙のリサイクルは、“次のステージ”へ 王子グループ、新ブランド『Renewa（リニューワ）』始動
資源循環の輪を広げ、持続可能な社会の実現に貢献

https://www.ojiholdings.co.jp/news/detail_002337.html

※本プレスリリースにおいて、全部・一部を問わず、画像の無断転載を禁じます。

本件に関する問い合わせ先
王子ホールディングス株式会社 グループオペレーション本部 リサイクル推進部 TEL：03-3563-1130 E-mail： ohd.recycling-system@oji-gr.com コーポレートガバナンス本部 広報IR部 TEL：03-3563-4523 E-mail： oji-holdings@oji-gr.com